

効果継続に向けたハンプの更新



まちづくり活動の中で住民主導により推進



19. 愛知県名古屋市
(天白区植田東地区)

広域図



背景の地図の出典: 国土地理院

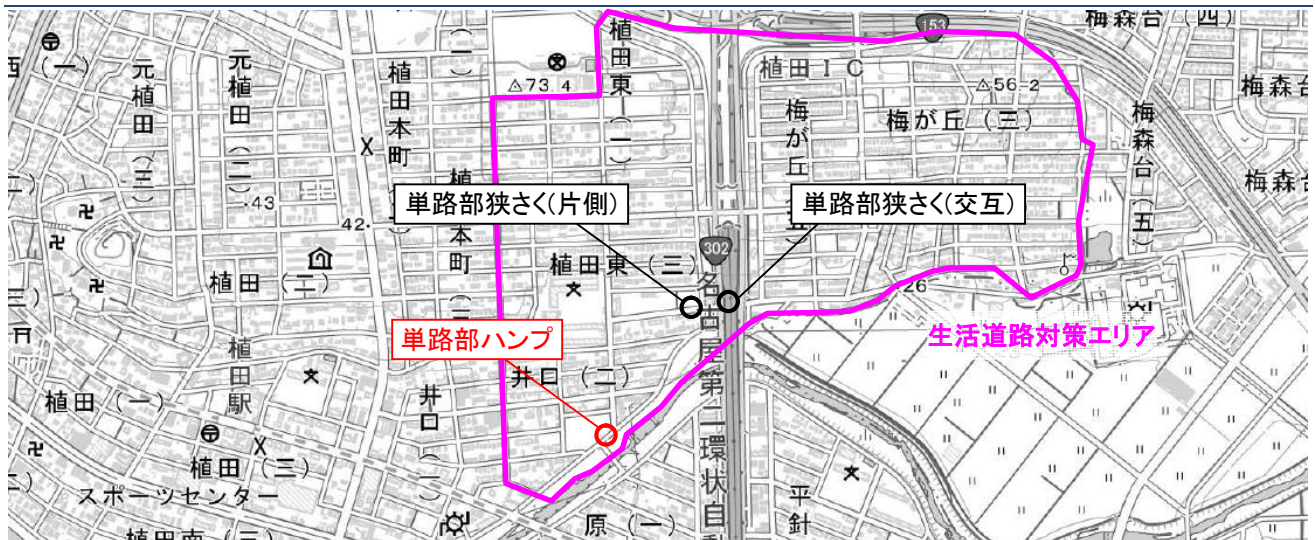
整備計画等 策定状況	生活道路対策エリア
対策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ゾーン 30 に指定 ▶ 単路部ハンプ 1 箇所 ▶ 単路部狭さく(片側)1 箇所 ▶ 単路部狭さく(交互)1 箇所 他
生活道路の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 狭さく設置区間において、幹線道路からの抜け道利用が多く(53%程度*)、走行速度が高い(30km/h 以上の車両が 47%程度*) ▶ ハンプ設置区間において、当該区間の車両平均速度は 30km/h を下回っているが(平均 22.7km/h*)、既設ハンプの劣化が進んでおり、速度低減効果を維持するため、ハンプを更新 *ETC2.0 プローブ情報

設置の
特徴

効果継続に向けたハンプの更新

物理的デバイスの概要(1/2)

設置箇所



背景の地図の出典:国土地理院

設置内容

	内容	備考
設置箇所数	1箇所	
設置時期	2016年7月(更新)	・2006年3月(当初設置)
ハンプの形状	<ul style="list-style-type: none"> 平坦部の長さ 2m ハンプの高さ 10cm 傾斜部の勾配 平均5% 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術基準を参考 ・傾斜部はサイン曲線で施工
構造及び 付属施設	<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト製ハンプ ・平坦部、傾斜部のカラー化 ・自発光鋳 ・路面表示 ・警戒標識 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初は可搬型ゴム製ハンプであったが、ゴム版の経年劣化によりアスファルト製ハンプに更新 ・平坦部、傾斜部：ベンガラ
技術的な工夫	<ul style="list-style-type: none"> ◆当初は可搬型ゴム製ハンプを設置していたが、利用者が速度抑制効果を実感している中で、設置後約10年が経過し、ゴム版の劣化が進んだため、アスファルト製ハンプに更新 ◆路肩の街渠を含む道路全幅をハンプ化しているため、ハンプ前後には街渠柵を設置して、道路排水に配慮 ◆歩車道境界は左右ともガードパイプを設置し、歩行者防護とともに狭さく感を演出 	

設置状況(1/2)



概観



通行状況



路面表示



警戒標識



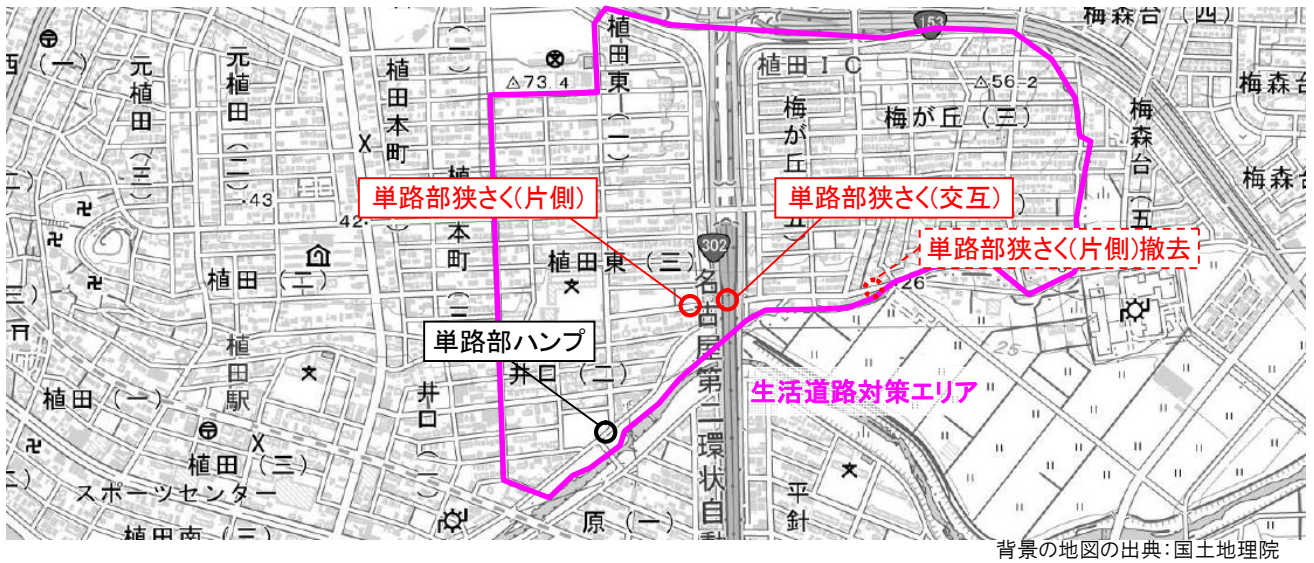
ハンプ前後に街渠柵を設置
(道路排水に配慮)



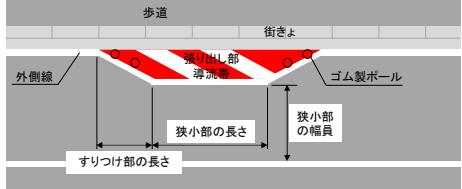
概観
当初設置(可搬型ゴム製ハンプ)

物理的デバイスの概要(2/2)

設置箇所



設置内容

	内容	備考
設置箇所数	2箇所	
設置時期	2017年2月	<ul style="list-style-type: none"> 2017年11月に単路部狭さく(片側)を1箇所追加設置するも、翌年12月に撤去
狭さくの形状	<p>【単路部狭さく(片側)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 狭小部の幅員 3m 狭小部の長さ 2m すりつけ部の長さ 2m <p>【単路部狭さく(交互)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 狭小部の幅員 3m 狭小部の長さ 4m 狭さく相互の間隔 20m すりつけ部の長さ 1.5m 	<ul style="list-style-type: none"> 技術基準を参考 
構造及び付属施設	<ul style="list-style-type: none"> ゴム製ポール 張り出し部のカラー化 導流帯 注意看板 	<ul style="list-style-type: none"> 張り出し部：ベンガラ
技術的な工夫	<ul style="list-style-type: none"> ◆狭さくは連続設置で速度抑制効果の向上を図った ◆通行の優先をわかりやすくするため、片側狭さくを基本とした ◆張り出し部を導流帯とし、カラー化することで、狭さくの存在をわかりやすく示した ◆ゴム製ポールの位置(間隔)は、自転車が張り出し部を通り抜けられるよう設定した ◆側溝を除いて、車道が3m確保できるように張り出しの幅を調整し、連続配置の箇所は、蛇行しすぎないように狭さく相互の間隔を調整した 	

設置状況(2/2)

単路部狭さく(片側)



概観



ゴム製ポールの配置



注意看板

単路部狭さく(交互)



概観



通行状況

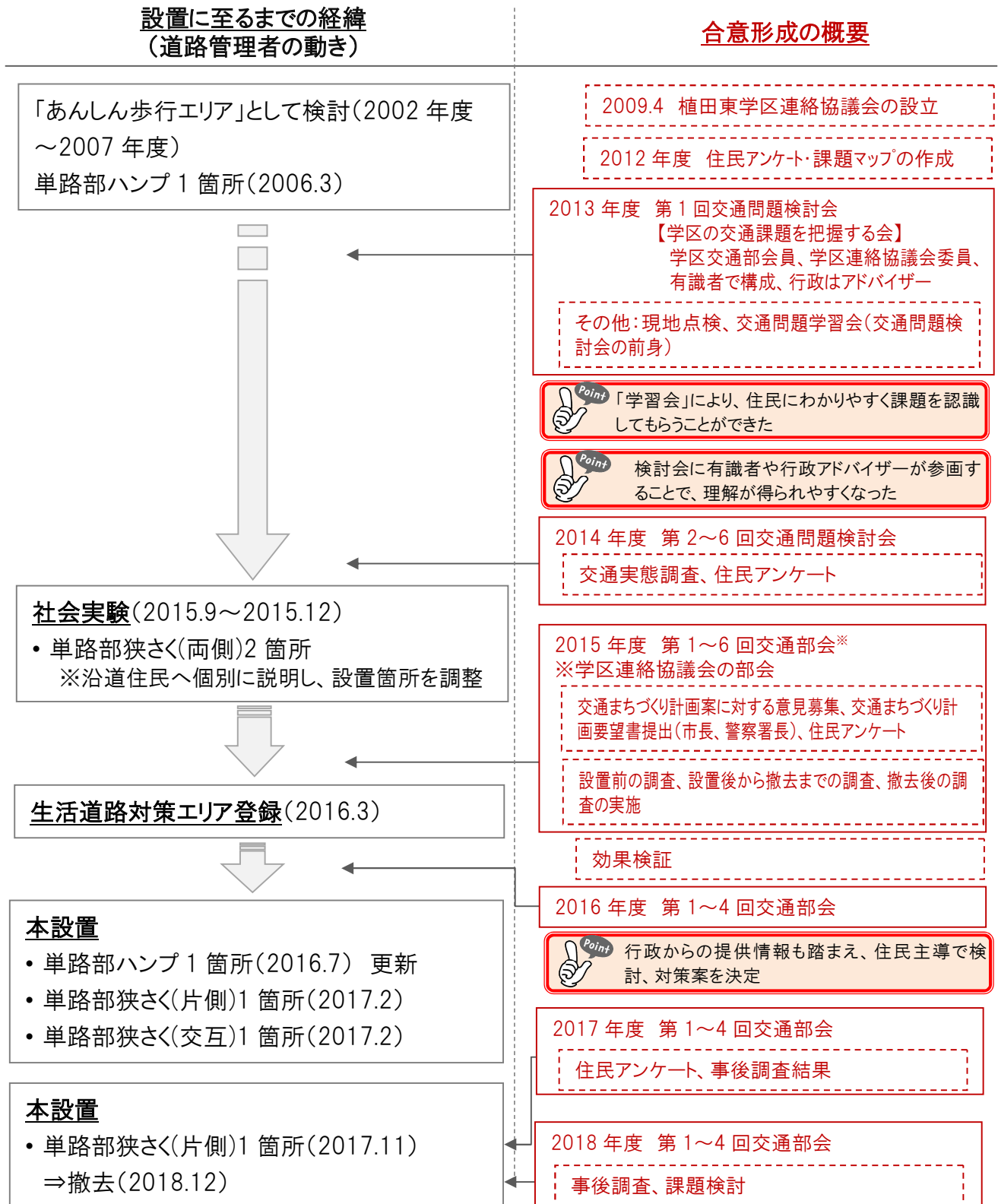


ゴム製ポールの配置
(自転車が通行できる幅)


合意形成
のポイント

まちづくり活動の中で 住民主導により推進

設置に至るまでの経緯と合意形成の概要



PDCA の中での合意形成の内容とポイント

段階	説明手法・内容	道路管理者の考える合意形成のポイント 
現況調査 計画策定 <Plan>	❖ 学区アンケート調査実施【住民意見の聴取】 実施日 2012年10月 対象者 町内会加入全世帯	<ul style="list-style-type: none"> •住民主導でアンケート調査を実施
	❖ 広報資料配布【アンケート結果紹介】 実施日 2013年2月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙	<ul style="list-style-type: none"> •広報資料により積極的に情報提供を図ることで理解が得られやすくなった
	❖ 課題マップ整理 実施日 2013年2月 参加者 学区連絡協議会役員	
	❖ 広報資料配布【課題マップ紹介】 実施日 2013年5月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙(3つの課題マップ紹介)	<ul style="list-style-type: none"> •意見をマップに整理することで、課題を明確にできた
	❖ 広報資料配布【部会活動紹介】 実施日 2013年8月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙(学区連絡協議会の交通、環境・防犯部会の活動紹介)	
	❖ 現地点検【アンケート結果の課題箇所】 実施日 2013年10月 参加者 学区連絡協議会の交通部会員	
	❖ 交通問題学習会 実施日 2013年12月 参加者 学区連絡協議会委員	<ul style="list-style-type: none"> •「学習会」により、住民にわかりやすく課題を認識してもらうことができた
	❖ 第1回交通問題検討会【学区の交通課題について】 実施日 2014年2月 参加者 交通問題検討会委員、学校関係者、名古屋市、天白区、天白警察署	<ul style="list-style-type: none"> •検討会委員として有識者や行政アドバイザーが参画することで、検討内容、対策方針への理解が得られやすくなった
	❖ 第2回交通問題検討会 実施日 2014年5月 参加者 交通問題検討会委員	
	❖ 第3回交通問題検討会【アンケート、通学路整備について】 実施日 2014年7月 参加者 交通問題検討会委員	
	❖ 広報資料配布【交通問題検討会、調査報告】 実施日 2014年7月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 交通まちづくりニュース1	
	❖ 広報資料配布【交通実態調査紹介、アンケート予告】 実施日 2014年8月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙	

現況調査 計画策定 〈Plan〉	❖ 第4回交通問題検討会【交通実態調査結果について】	
	実施日 2014年9月 参加者 交通問題検討会委員、学校関係者、名古屋市、天白区	
	❖ 広報資料配布【交通実態調査結果報告】	
	実施日 2014年10月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 交通まちづくりニュース2	
	❖ 第5回交通問題検討会【対策の議論】	
	実施日 2014年11月 参加者 交通問題検討会委員、学校関係者、名古屋市、天白警察署	
	❖ 広報資料配布【アンケート結果報告】	
	実施日 2014年12月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 交通まちづくりニュース3	
	❖ 第6回交通問題検討会【まちづくり計画案について】	
	実施日 2015年1月 参加者 交通問題検討会委員	
	❖ 広報資料配布【部会(まちづくり計画案の作成)の紹介】	
	実施日 2015年2月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙	
	❖ 広報資料配布【交通まちづくり計画案】	
	実施日 2015年3月 対象者 町内会全世帯(未加入世帯も含む) 配布資料 植田東学区交通まちづくり計画案	
	❖ 交通まちづくり計画に対する意見募集【意見から社会実験を企画】	
	実施日 2015年3月～4月 対象者 植田東学区町内会加入世帯	
	❖ 2015年度第1回交通部会	
実施日 2015年5月 参加者 学区連絡協議会交通部会員		
❖ 2015年度第2回交通部会		
実施日 2015年5月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、名古屋市、天白警察署、有識者		
❖ 2015年度第3回交通部会		
実施日 2015年7月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、有識者		
❖ 広報資料配布【要望書、社会実験について】		
実施日 2015年7月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 交通まちづくりニュース4		
❖ 広報資料配布【社会実験PR】		
実施日 2015年8月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙		
❖ 2015年度第4回交通部会		
実施日 2015年9月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、有識者		

<p>現況調査 計画策定 〈Plan〉</p>	<p>❖ 広報資料配布【社会実験 PR】 実施日 2015年9月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 交通まちづくりニュース 5</p> <p>❖ 広報資料配布【社会実験お知らせ】 実施日 2015年9月 対象者 社会実験箇所の沿道住民 配布資料 社会実験のお知らせ</p> <p>❖ 社会実験 実施日 2015年9月～12月 実験内容 単路部狭さく(両側)2箇所</p> <p>❖ 2015年度第5回交通部会 実施日 2015年12月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、有識者</p> <p>❖ 2015年度第6回交通部会【社会実験・アンケート結果】 実施日 2016年1月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、有識者</p> <p>❖ 広報資料配布【社会実験・アンケート結果】 実施日 2016年1月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 交通まちづくりニュース 6</p> <p>❖ 広報資料配布【社会実験・アンケート結果】 実施日 2016年2月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙</p> <p>❖ 広報資料配布【実施計画】 実施日 2016年2月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 実施計画リーフレット</p> <p>❖ 2016年度第1回交通部会 実施日 2016年5月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、学校関係者、国土交通省、名古屋市、天白警察署、有識者</p> <p>❖ 広報資料配布【現地調査、ハンプ工事 PR】 実施日 2016年7月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース 7</p> <p>❖ 2016年度第2回交通部会【進捗状況、その他対策等】 実施日 2016年7月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、学校関係者</p>	<p>•学区連絡協議会が主体となって社会実験を実施 •社会実験実施箇所の沿道住民には個別に説明を実施し、設置位置の調整を図った</p> <p>•行政からの提供情報も踏まえ、住民主導で検討、対策案を決定</p>
<p>↓</p> <p>対策実施 〈Do〉</p>	<p>❖ 本設置 運用開始 2016年7月(単路部ハンプ)</p>	
<p>↓</p> <p>現況調査 計画策定 〈Plan〉</p>	<p>❖ 2016年度第3回交通部会【狭さく整備計画等】 実施日 2016年9月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、国土交通省、名古屋市、天白警察署、有識者</p>	

<p>現況調査 計画策定 <Plan></p>	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 広報資料配布【狭さく整備計画】 実施日 2016年9月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース 8 ❖ 2016年度第4回交通部会【整備状況、次年度計画】 実施日 2016年12月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、国土交通省、名古屋市、天白警察署、有識者 ❖ 広報資料配布【2016、2017年度計画】 実施日 2017年1月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース 9 ❖ 2017年度整備計画に対する意見募集 実施日 2017年1月～5月 対象者 植田東学区町内会加入世帯 	
<p>対策実施 <Do></p>	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 本設置 運用開始 2017年2月(単路部狭さく(片側・交互)) ❖ 広報資料配布【ゾーン30の紹介】 実施日 2017年2月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙 	
<p>評価 <Check></p>	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 2017年度第1回交通部会【2016年度、2017年度整備】 実施日 2017年5月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、学校関係者、国土交通省、名古屋市、天白警察署、有識者 ❖ 広報資料配布【整備計画一部修正】 実施日 2017年6月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース 10 ❖ 2017年度第2回交通部会【事後調査、その他対策等】 実施日 2017年7月 参加者 学区連絡協議会交通部会員 ❖ 学区アンケート調査 実施日 2017年8月 参加者 町内会加入全世帯 内容 高架下道路事後調査 ❖ 事後調査 実施日 2017年8月 実施主体 名古屋市 ❖ 2017年度第3回交通部会【事後調査結果、その他対策等】 実施日 2017年11月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、学校関係者、国土交通省、名古屋市、有識者 ❖ 2017年度第4回交通部会 実施日 2018年1月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、国土交通省、名古屋市、天白警察署、有識者 	

<p>評価 <Check></p>	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 広報資料配布【事後調査結果、アンケート結果、その他対策等】 実施日 2018年1月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース 11 ❖ 広報資料配布【アンケート結果】 実施日 2018年2月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙 ❖ 広報資料配布【2018年度整備】 実施日 2018年3月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース 12 ❖ 2018年度第1回交通部会【2018年度計画】 実施日 2018年5月 参加者 学区連絡協議会交通部会員 ❖ 広報資料配布【交通安全行動啓発】 実施日 2018年5月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙 ❖ 2018年度第2回交通部会【違法駐車パトロール、その他取り組み】 実施日 2018年7月 参加者 学区連絡協議会交通部会員 ❖ 広報資料配布【違法駐車パトロール、その他取り組み】 実施日 2018年7月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース 13 ❖ 広報資料配布【違法駐車パトロール】 実施日 2018年8月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 学区広報紙 ❖ 2018年度第3回交通部会【事後調査結果、課題等】 実施日 2018年11月 参加者 学区連絡協議会交通部会員、学校関係者、国土交通省、名古屋市、天白警察署、有識者 ❖ 広報資料配布【事後調査結果】 実施日 2018年12月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース 14 	
<p>↓ 対策改善 <Action></p>	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 単路部狭さく(片側)1箇所撤去 対策実施 2018年12月 2017年11月に追加設置した狭さくを撤去 ❖ 2018年度第4回交通部会【2019年度計画】 実施日 2019年1月 参加者 学区連絡協議会交通部会員 ❖ 停止指導線等整備 運用開始 2019年3月 	

<p>対策改善 <Action></p>	<p>❖ 広報資料配布【改善策実施】 実施日 2019年3月 対象者 町内会加入全世帯 配布資料 まちづくりニュース 15</p> <hr/> <p>❖ 指導線等の整備 対策実施 2019年3月</p> <hr/> <p>❖ 横断歩道部の改良 対策実施 2019年8月</p>	
--------------------------------	---	--

合意形成における道路管理者からみた特筆事項

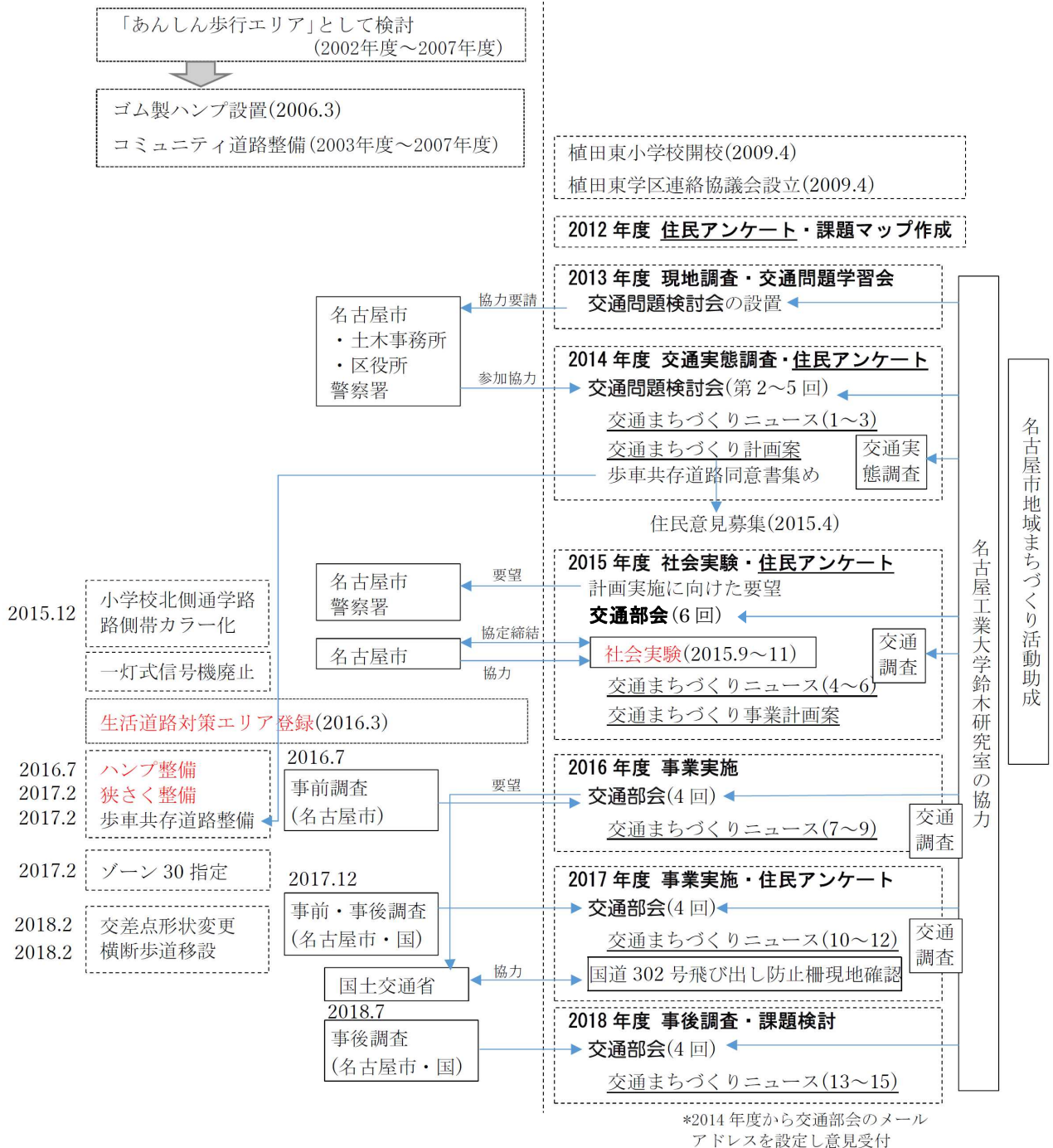
<p>円滑な検討に 結びついた点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学区連絡協議会として、有識者や行政と連携を図りながら住民主導で検討した。 ◆ 学区連絡協議会交通部会が中心となり積極的に広報活動を実施しつつ進めた。 ◆ 社会実験を行ったことにより、住民から具体的な意見を聞くことができ、計画案の修正を行うことができた。
<p>考えられる 今後の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 生活道路対策エリアを他地区へ展開していくために、当該地区での取組み内容や効果を積極的に広報していきたい。

その他参考資料

❖ 設置に至るまでの経緯と合意形成の概要

行政

合意形成の概要



出典: 学区連絡協議会交通部会資料